

進路だより



秋田県立能代支援学校

進路指導部 No. 6

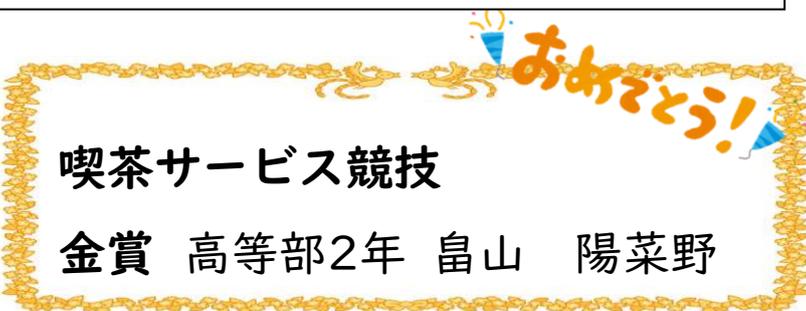
令和4年12月23日発行

~きぼうの道~

秋田県特別支援学校職業教育フェア（県北地区）が開催されました

11月28日、鹿角市文化の杜交流館コモッセを会場に、令和4年度秋田県特別支援学校職業教育フェア（県北地区）が行われました。職業教育フェアは、県北地区の一般企業等に、特別支援学校の生徒の職業能力や職業教育の取組についての理解を深めてもらい、その雇用の促進を図るとともに職業教育の充実を図ることを目的として行われているものです。

当日は、喫茶サービス、清掃、縫製の3競技による第11回秋田県特別支援学校技能競技会「錬成会」が行われ、本校高等部からは、高等部2年生の畠山陽菜野さん、村上優菜さんの2名が喫茶サービス競技に出場し、作業学習や放課後に練習してきた力を発揮して競技に臨みました。



喫茶サービス競技

金賞 高等部2年 畠山 陽菜野

紹介

高2 就業支援セミナー



12月16日（金）に株式会社ドゥファインから外部講師の方をお招きし、職業1グループの生徒を対象に就業支援セミナーを開催しました。セミナーでは、髪型や服装の整容面と姿勢や声のトーンなどの話し方を含めた第一印象の大切さ、様々な場面を想定した挨拶やお辞儀の仕方、面接の際によく質問される内容と面接や会社訪問の基本的なマナーについて講話を聞きました。講師の先生からは「今日勉強した挨拶やお辞儀の仕方などを日頃から意識して生活することで、自然と力が身に付いて大切な場面でも力を発揮することができます。」とお言葉をいただきました。生徒達は来年度に迫る就職活動に向けて真剣に話を聞いていました。

令和4年度 特別支援学校就労・職場定着促進事業「第2回職場定着対策会議」を開催しました

12月12日（月）に、今年度2回目となる職場定着対策会議を開催し、地域の関係機関、企業、近隣中学校、県北地区特別支援学校が参加しました。



本事業の柱は「卒業生の職場定着」と「中学部段階からの職業教育の充実」です。また事業推進拠点校の本校には職場定着支援員が配置されています。

高等部卒業後の職場定着状況や事例を参考に、高等部卒業から移行期における支援の充実に向けた支援の在り方や、在学児童生徒の進路指導と職業教育の充実に向けた取組について、それぞれの立場から活発な意見交換が行われました。

後期実習特集 Part 2 (中学部編)

中学部と高等部の後期実習の期間が終了しました。今回は、実習特集の高等部編（前号）に引き続き、中学部後期校内実習の様子をお伝えします。

中学部 後期校内実習

11月17日（木）から12月1日（木）まで【土日祝日を除く10日間】

作業学習製品販売会「能代支援ショップ」での製品販売に向け、模擬会社3社で「お客様に喜ばれるよい製品を作ろう」を合言葉に校内実習に取り組みました。実習では、製品製作だけでなく、製品の品質検討や販売シミュレーションを行っています。また、模擬会社による日中の活動を通して、将来の生活をイメージした習慣や決まり、マナーを意識して活動できました。事後の報告会で発表した、個別目標で達成できたことやこの先に向けた抱負など、実習期間の学びが今後の生活に結び付いていくように、進路学習を進めていきたいと思ひます。



(能代支援ショップの様子)

能代農園

フラワーリース、ハーバリウム等の製作、販売準備



貝細工の選別



ハーバリウムの製品検討



フラワーリースの製作

よねしろハーブ加工場

おひるねまくら等の製作、販売準備



ミシンでの縫製作業



手縫いによる縫製作業



アイロンでの加工、仕上げ

しののめ木工場

コースター、マグネットバー等の製作、販売準備



計測、罫書き



研磨作業



電動工具を使った部材加工